

第 21 回 さいたま赤十字病院の近隣調剤薬局との連携会 次第

日時：2023 年 4 月 14 日（金）17:30-18:45

場所：当院 7F 第 3 会議室

参加者：アイン薬局

ウエルシア薬局さいたま新都心けやきひろば店

セイムスさいたま新都心薬局

南山堂薬局さいたま新都心店

みどりの薬局

各薬局店舗より 1 名

医事課（外来係）：2 名

薬剤部：町田部長他、9 名

アルフレッサ：2 名

議事

1. 前回までの議事録の確認

・術前休薬指示対応について

* 形式を統一するため、書面を作成

・患者がサポート薬局に書面を持参した場合、患者へ「確認・通知」できるか

→原則対応可能。

・連絡がつかなかった場合：トレーシングレポートに記載することで、連絡を行ったことの担保とする

・運用開始は6月ごろを想定。

・TS-1 指導ツールについて

* エスワнтаイホウで使用されるパンフレットに服薬・休薬期間の記載がなかったため、内容を担保するプリントを作成した。こちらを指導時に活用してほしい。

→次回の会議にて、問題点や使用の感想から改良を検討

・HP 改訂について

* 入院前服薬情報提供書

当院より 100 枚程度配布：現状 10 件程度の返信。

・越谷など広域からの返信もあったため、今後はさいたま市薬剤師会や、埼玉県薬剤師会等でアンケート形式の周知を検討。

2. 各店舗から連絡・提案事項等

特になし

3. さいたま赤十字病院から

*薬剤部より

- ・フォルテオ・テリボンの指導時の対応について
 - 転院先より当院へ、いつから導入されたのかを問い合わせを受けることがあるが、当院以外で導入されることも多い。サポート薬局で初回指導を行う際に、お薬手帳に注射の情報をどのように反映させているか。
 - 手帳用のシールは貼付しているが、初回で受けることが稀のため、その他決まったルールはない。現在、さいたま市薬剤師会が作成中のお薬手帳カバーへの反映を期待。
- ・レジメン研修会への参画について
 - 次々回以降のレジメン研修会において、各薬局の取り組みについて発表予定。
- ・救急・災害時関連について
 - 緊急入院患者の薬剤使用状況の確認は、現状はかかりつけ医に連絡をとることが多いが、今後サポート薬局とも連携をとっていきたい。
- ・今年度当院薬剤部目標に関連した事項について
 - リフィル処方発行について:マニュアル作成や周知の要望が強かったため、今後対応予定。
 - 連携充実加算の充実について：担当薬剤師を増やし、対象患者の拡大に努める。
 - 薬一薬連携による問題解決策への協議：当院からの問題提起だけではなく、問題点を掘り上げていきたい：地域としての問題点解決に努めていく。

*入退院支援センターより

- ・担当者変更の周知

*医事課より

- ・特になし

4. さいたま市薬剤師会から

- ・埼玉県薬剤師会より：かかりつけ薬剤師の育成として、薬剤師生涯学習委員会が発足。今後、新たなシラバスに沿った研修会を行っていく予定。

5. アルフレッサから

- ・GDPに関する取り組みについて：保冷品の運送に使用している保冷バック紹介
- ・2024年のドライバー問題：今後の課題として検討中

7. その他

- ・免疫チェックポイント阻害薬用の抗がん剤治療情報提供書を、表記を平易にし、患者も使用しやすいように改定予定

- ・次回の開催日 予定：2023年7月14日（金）17時半～ 対面予定